

“あいさつ”を考える

「挨拶は“相手の心の扉を開くカギ”」と 言われています

挨拶は、小学生も知っている一般常識です。挨拶は、してもしなくても何の差支えもないので、つついしなくなってしまう世の中にはそういう風潮があります。

晴嵐学区では、「健康で安心して暮らすことが出来る街づくり」を進めていく一つとして“あいさつ運動”の推進を提唱され、現在、関係機関・団体で啓発されています。

挨拶のメリットはたくさんあります。

☺大きな声で挨拶すると気持ちが良い。
顔は自然と明るくなり、口調もハキハキしてくる。気持ちも前向きになります。

☺笑顔になる機会が増える。
無意識のうちに笑顔を作り、気持ちも上向いてきます。健康に効果があります。

☺相手からの印象が良くなり、人間関係も良くなる。
挨拶をすることは相手を認めていることになり、相手も自分を認めてくれた人だと思って好意的に接するようになり、人間関係が良くなります。

☺常識がある人という評価が得られる。
挨拶は礼儀の基本であり、とても簡単なものです。これが「常識があるかどうか」の判断材料の一つになります。

☺挨拶から会話が始まる。
挨拶をきっかけに会話が始まります。会話が弾み、気持ちが伝わるというストレスを軽減するためにも挨拶は重要です。

<挨拶は言われて返すのは簡単！自分から言うことが大事!!>

一人一人の人権を尊重し、差別のない社会を創造する上において“あいさつ”の実践は基本であり、欠けてはならない重要なものです。挨拶は人間関係の基礎となる大切なコミュニケーションです。



みんなで“あいさつ運動”を展開しましょう!!